

RSTトレーナー会

1. 設立の経緯

昭和48年10月に第1回RST講座(安全衛生トレーナー養成講座)がスタート。2年後の第34回全国産業安全衛生大会にて、最初のRST討議集会被開催され、超満員となる。5年後には4000人近くのトレーナーが誕生し、トレーナーの研鑽を進めるため、交流組織を求める機運が生まれ、トレーナーの会の結成について多くの要望が寄せられる。

2. 発足

多くのトレーナーの要望を踏まえ、昭和51年10月29日、全国産業安全衛生大会(東京)RST特別集会后に、設立総会を開催し、RSTトレーナー会が発足、初代会長に住谷自省先生が就任される。



設立総会で挨拶される住谷会長

3. 活動

昭和51年10月発足後、平成24年6月まで35年間に、北海道から沖縄まで全国37支部が設立され、全国組織として活動を進めてきた。その間、トレーナーの資質向上を目指し、次の活動等を実施してきた。

①「RST研究」の発行(198回)

- ・トレーナーの情報交換、研究成果、地区トレーナー会の活動報告等

②トレーナー研修会の開催(177回)

- ・RST講座の教科目を基本に、法令の解釈、地域の優良事業場見学、さらに安全配慮義務、リスクアセスメント、メンタルヘルスなど、時のニーズに対応した研修
- ・テキストの各種補助教材の作成

4. 解散

平成24年6月、35年間の活動を終え解散。

地域における安全衛生教育トレーナーの活動

平成24年6月、RSTトレーナー会が全国組織としての一定の役割を果たして解散したが、その後多くの安全衛生教育トレーナーにより、次の地域等において、地域に密着した新たなトレーナーの活動がはじまっている。

沖縄県安全衛生ネットワーク(沖縄県支部を継続し改称)

愛媛RSTトレーナー会(H24.6)

島根県RSTトレーナー会(島根県支部を継続し改称)

兵庫県RSTトレーナー会(H25.4.26)

大阪安全衛生トレーナー交流会(H25.5.11)

京都安全衛生トレーナー交流会(仮称)(H25.9.6)

三重県RSTトレーナー会(三重県支部を継続し改称)

中部RSTトレーナー研究会(H25.3.27)

静岡RSTトレーナー会(H24.10)

長野県RSTトレーナー会(長野県支部を継続し改称)

神奈川県RSTトレーナー会(神奈川県支部を継続し改称)

千葉RSTトレーナー会

彩の国RSTトレーナー会(埼玉県支部を継続し改称)

北海道RSTトレーナー会(北海道支部を継続し改称)



大阪安全衛生トレーナー交流会 設立総会